

令和3年度 第1回 日進市食育推進委員会 会議録

日 時 令和3年7月27日(火) 午前9時30分から午前11時40分まで
 場 所 日進市役所本庁舎4階第3会議室
 出 席 者 安達 内美子、長江 利春、朝井 基晶、久木 陽子、村瀬 幸代、植木 佳代、
 岩本 直美、森田 美佳、下野 房子
 欠 席 者 小金澤 衣里
 事 務 局 農政課 課長 祖父江 直文、課長補佐 岡田 剛、主任 青山 侑嗣
【関係部署(説明のために出席した職員の職氏名)】
 健康課 榊原 裕美、こども課 木村 文香、学校教育課 今枝 吉紀、
 学校給食センター 山本 重樹

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有(1名)

公開・非公開の状況 公開

- 次 第
- 1 開会あいさつ
 - 2 委員及び事務局等職員の紹介
 - 3 副会長の選任について
 - 4 議 題
 - (1)令和2年度事業実績報告について
 - (2)令和3年度事業計画について
 - (3)第3次日進市食育推進計画の見直しについて
 - (4)令和3年度食育啓発用品の作成について
 - 5 意見交換その他

- 配布資料
- ・次第、名簿
 - ・令和2年度実施事業一覧
 - ・令和3年度事業予定一覧
 - ・第3次日進市食育推進計画見直しの方針、内容等
 - ・令和3年度食育啓発用品の作成について
(参考資料)
 - 第3次日進市食育推進計画
 - 第3次日進市食育推進計画 概要版
 - 第3次日進市食育推進計画 目標値指標
 - 第3次日進市食育推進計画 目標値指標対応事業数一覧
 - あいち食育いきいきプラン2025 概要版
 - 広報・HP関係資料

発言者	内容(要旨)
事務局	・開会(午前9時30分)
会長	・出席委員の確認 ・あいさつ
事務局	続きまして、次第2委員及び事務局等職員の紹介については、変更のあった委

発言者	内容（要旨）
	<p>員のみ紹介します。あいち尾東農協の上田委員の人事異動に伴い、長江委員が就任されましたので、よろしくお願ひします。農政課職員も人事異動に伴い、今年度から農政振興係主任の青山が担当させていただきますので、よろしくお願ひします。委員及び事務局等職員の紹介は以上です。</p> <p>続きまして、次第 3、副会長の選任について、副会長は会長が指名することとなっておりますので、安達会長より指名をお願ひします。</p>
会長	食と農業は深く関わっていると思います。地元の農業に詳しいあいち尾東農協の長江委員が適任だと思いますので、副会長に指名します。よろしくお願ひします。
事務局	それでは、長江委員は副会長の席に移動していただきまして、一言あいさつをお願ひします。
副会長	・あいさつ
事務局	ありがとうございました。それでは、これより安達会長に議事進行をお願ひします。
会長	議事に入る前に、本会議の公開の可否について発議させていただきます。本日の議題については個人に関する情報等、明らかに公開するのに適当でない事項はありません。よって、会議は公開でよろしいでしょうか。
全委員	・特に異議なし（全委員賛成）。
会長	また、本日の会議の傍聴の申し出はありますか。
事務局	はい。1名の申し出があります。
会長	それでは傍聴者の入室を許可してもよろしいでしょうか。
全委員	・特に異議なし（全委員賛成）。
会長	傍聴者の入室をお願ひします。
傍聴者	(入室)
会長	<p>それでは、次第に沿って進めていきます。</p> <p>次第 4 の (1) 令和 2 年度事業実績報告について、事務局及び関係部署より説明をお願ひします。</p>
事務局	(事務局及び関係部署・団体説明（健康課、こども課、学校教育課、学校給食センター、名古屋学芸大学、あいち尾東農協）)
会長	ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見やご質問などはありませんでしょうか。
全委員	・特に質問なし（全委員賛成）。
会長	では、ご質問等が無いようでしたら、続いて(2)令和 3 年度事業計画について、事務局及び関係部署より説明をお願ひします。
事務局	(事務局及び関係部署・団体説明（健康課、こども課、学校教育課、学校給食センター、名古屋学芸大学、あいち尾東農協）)
会長	ありがとうございました。それでは今の説明について、ご意見やご質問はありませんでしょうか。
全委員	・特に質問なし（全委員賛成）。

発言者	内容（要旨）
	コロナ禍で昨年度は中止になった事業も多かったですが、今年度は皆さんが努力されてできている所も増えました。それでは次に進みたいと思います。(3) 第3次日進市食育推進計画の見直しについてご説明をお願いします。
事務局	(事務局説明)
会長	ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありますか。
事務局	共食とはのコラムの出典にあります「こしょく」という言葉は足立己幸先生という人が作られたと伺いましたが、安達会長いかがでしょうか。
会長	足立己幸先生は「こしょく」、「共食」の言葉を作った人で、私の先生になります。今、名古屋学芸大学の名誉教授でもあります。 おそらく、食育推進計画に記載されるのは日進市が全国で初になると思います。7月に足立先生が提示された共食の新しい定義も記載しており、これから他の市町村や県が取り入れていくべき事と思っています。日進市が全国に先駆けて取り入れたいと考えています。 食育事業を推進してきた中で、共食というものが形骸化されている、言葉だけが独り歩きしている状況になっているのではないかと感じており、もう一度、共食とは何なのか考え、新しい時代に対応していくべきと思います。ただ一緒に食べていけばいいのか、今一度、考え直していきたいです。
事務局	今回の変更は愛知県の方針に則って、特に共食という所を主なテーマとし、軽微な変更を加えたものです。今後のスケジュールとしては、本日、委員の皆様のご意見をいただき、加除修正した素案を第2回食育推進委員会において諮った後、来年の2月頃までにパブリックコメントを募集し、その意見を考慮して最終の変更計画を確定していく流れになります。なお、気づいた点等ございましたらご意見をいただければと思います。
委員	共食の所ですが、見直し内容3(3)②の書いてある文章は全部が「こしょく」のコラムのこの下に入りますか。「こしょく」の下に「共食」と入りますか。それとも共食が独立した状態でここに書いてあることが全部入りますか。
事務局	コラムの次に、同じようにコラム「共食とは」というタイトルで同じように入ります。
委員	わかりました。
会長	事務局の説明にあったスケジュールについて、意見はいつまでに提出すれば良いですか。
事務局	2週間以内程度でいただければと思います。なお、愛知県がこれまでの方針を継承しながら「SHIN化」というところを、内容を新しくしたり、進めたり、深めたり、さらに横のつながりなどを考えて変更を加えていますので、それを踏まえてご確認いただければと思います。
委員	第3次日進市食育推進計画は具体的にどう広めていくのですか。
事務局	主に計画の概要版を大学の管理栄養学を専攻する学生や、家庭教育推進委員会等に配布しようかと考えています。なお、今回の計画を反映した概要版を来年度

発言者	内容（要旨）
	印刷し、各方面に配布する予定です。
委員	現状の概要版について、文字は綺麗ですが、画像が粗い部分があると思います。せっかく良いものを出そうとしているのに、そういう所がすごく気になります。愛知県の発行する概要版は綺麗だと思います。手に取った時に一生懸命さが伝わりにくいと思います。せっかく手に取っても活用されないような資料を作るのはもったいないと思います。画像等にも少し気を配って作っていただけると、もっとたくさんの方に手にしていただけるのではないかと思います。
事務局	今回お配りしたクリアファイルは、名古屋学芸大学にデザインしてもらっており、また健康課が紹介した食品ロスのチラシも名古屋学芸大学に作ってもらっています。概要版のデザインについて、市民協働課の大学委託予算を活用できるか相談してみます。概要版のデザインは一新されますが、計画内容に直接影響する所ではないため、デザインについては、事務局に一任していただけたら、と思います。ご意見ありがとうございます。
会長	他にご意見はありますか。
委員	第3次日進市食育推進計画の目標値指標対応事業数一覧に増減の数値が出てるとは思いますが、実施されているとプラスの数字が出ていますよね。
事務局	目標値指標として①～⑩番までの各事業について各番号が入ってます。例えば、令和3年度-実施予定一覧の1ページ目の一番上の乳幼児健康診査という所を見ると、目標値指標の欄に①②③と記載してあります。それが指標項目の①②③として、乳幼児健康診査では①主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合に対して貢献しているということと、②習慣的な朝食の摂取状況の割合に貢献しているということと、③外食や食品を選ぶときの栄養成分表示を活用する人の割合に貢献しているということで、この事業はこの3項目に貢献しているとしています。それらを積み上げたものが目標値指標対応事業数一覧の数字になります。
委員	増減がマイナスになる場合はどうしてでしょうか。
事務局	単純に令和2年度の数字と令和3年度の数字を見ているためです。⑥番での学校給食での行事食の食事回数は令和2年度では2回提供されていたけれども、令和3年度の予定では1回なので、そのまま減っているということです。
委員	なぜそう思ったかという、⑦学校給食における日進市産食材の使用量の割合というのがマイナスになっていて、農家としては悲しく思います。マイナスになる理由を教えてもらえれば、農家としてできることがあるのかなと思いました。自分は農家なので、農家としてここがプラスになっていければいいなと思いました。理由を具体的に教えていただけると、プラスが増えていくのかなと思います。⑧番も地産地消を認知している人の割合はプラス3になっています。啓蒙活動の事業がプラス3で行われていて地産地消をやろうと思う人も増えていると思いますが、そういう意味合いでも学校給食にプラスになっていくといいと思います。
事務局	これは単純に事業数で計算しているので、決して農家さんの貢献度が低いとい

発言者	内容（要旨）
	うわけではありません。
会長	他にご意見やご質問などはありますか。
全委員	・特に質問なし。
会長	他に意見が無いようですので議題に戻ります。 (4) 令和3年度食育啓発用品の作成について事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局説明)
会長	ありがとうございます。ただいまの説明について、皆様のご意見、ご質問をお願いいたします。
委員	私にも幼稚園年長の娘がいます。お風呂に貼るシートは子どももよく見てくれるし、お風呂は毎日のことなので会話の中でも取り入れやすいと思います。さらに、一般向けの販売もあればより良いと思います。
事務局	ありがとうございます。市のシンボルマークのピンバッジのように一般販売も検討できればと思います。
委員	小学生でも興味を持ってくれると思います。地図とかでも日本地図ならいっぱい買えますけど、日進市だけのオリジナルの地図は無いので良いと思います。
会長	共食の話に戻りますが、教材で食について話し合う、共有することも共食と言えます。
委員	第3次日進市食育推進計画に話が戻りますが、この共食の文章（コラム）について、「こしょく」の所は自分で気を付けようとするれば、やれる部分が多いと思います。しかし、共食のところでは家族構成とか家族の経済状況とかで完全にできない人もいますので、共食が良い、良いと押し付けるよりは、例えばこんなことも共食になりますというような事を文章の中に織り込んでいただけるといいと思います。この文章の表現がきつい印象を受けます。一週間に一回でも、一日に一回でもいいからとか。何かもう少し取り組みやすいようなものの一文を入れられないか検討してください。
会長	それは事務局と共に足立先生に相談してみます。今は先生の言葉になっているので、勝手に変えるわけにはいかないのです。
委員	これを使いながら日進市として、何か加えていくことができないか、この文章はちょっと固すぎる印象を受けます。作られた時代と今の家族形態も変わってきていますので。
会長	今、まさに作られた時代です。例えばリモートで、電話で、「今日何食べた？」なんていう会話も共食に含めようという考えです。
委員	一緒に食べたくても、家庭の事情でその時間が取れない人もいらっしゃいます。共食をすることが良いと押し付けるのではなく、こんなことも取り組んでみたらどうでしょうか。もう少し一歩引いたようなコメントがあるといいと思います。
会長	基本目標の2、3にあるのが共食だと考えています。そこまで解釈を広げようと思って定義を入れるのではないかと思います。第3次日進市食育推進計画の5

発言者	内容（要旨）
	ページの「食を通じて豊かな「心」を育みます」とありますが、基本方針1であえて家族というのを強調していて、基本方針2・3も共食なんだということを、そこまで共食を拡大解釈したいという意味で、あえて共食の定義をどこかでちゃんと入れておかないと、そこまで広げられないかなと思ったのですが、少し伝わりにくいことはあるかもしれないです。
委員	共食コラムは使わなければならないのでしょうか。共食とは一般的に使われている言葉で、足立先生が提言する言葉がここに入ってこなければいけないとは私は思わないのですが。
会長	皆さんが共食と言われた際、どう捉えているかに対して、これが共食だということは広げておくべきかと。ただ人と食べることが共食だと思っている人は多いのではないかと思います。
委員	例えば共食コラムの(3)食行動について、「食行動とは人間の多様な行動の中、食物と関わる行動の総称のこと」では一般人にはわからないので、例えばそれを優しい呼びかけにしたほうが良いと思います。
委員	今、皆さんがおっしゃるように足立先生の発表されている文章は大切だと思います。例えばコラムの中で、その文章を載せて、主の部分については日進市としての考え方を、例えば共食といってもお友達と食べるとか、学校で給食を食べるとか具体的に皆さんがわかりやすい内容として、一人だから共食ができないではなくて、日進市として考え方というか具体的なものを少し載せていくと良いと思います。
会長	定義は定義として載せなければいけないと思います。
事務局	貧困や孤食、親と関係性が上手くいってない人など、多様な人がいますので、福祉計画などの表現を参考にして配慮すると良いかと思います。定義の後に、米印等で入れるイメージで。
委員	「こしょく」は、一人で食事をとるだけだと思っていましたが、「こしょく」コラムを見て、2番目の個食が今の生活になってしまっていて、その次の粉食とか、カップラーメンだったり総菜パンを買ってきて食べるというのも「こしょく」なんだなど。共食しましょうという皆さんがおっしゃっていたような問題で一人だからできないとなるけど、一人でも「こしょく」にならないようにしようという表現にすると良いのかなと思います。最近はYouTubeの向こうでご飯食べてるだけの動画なども人気で、「おかずを作って、ご飯を作って、食べます」だとアクセス数や見る人が増えるとも聞いたことがあります。それは「こしょく」じゃないから増えるのかなと。そういうコミュニケーションが今あるので、「こしょく」にならないようにという、このコラムがすごいグッときて、もっとお米を食べてほしいなと思いました。「こしょく」は、一人で食べるだけじゃないんだということが私自身勉強になりました。
委員	「こしょく」について複数振り分けられていて、コレステロールが多い物も「こしょく」にされており、いろいろはめ込んでいるんですね。調べてもらうと、これ以外にいっぱいあります。柔らかい食事もたぶん「こしょく」に入っている

発言者	内容（要旨）
	と思いますが。
会長	食育自体もそうですが、言葉の定義がそもそもしっかりしていない部分があります。きちんととらえながら皆さんにより理解していただけるようにしていかないと、またそこで曲がって伝わってしまうといけないんじゃないかなと思います。共食は人と一緒に食べることだということから解放するために定義を出すのであって、押し付けることから解き放とうとするために定義を載せるので、なんか話が混合してるのかなと思って、一度、整理をして皆さんに伝わるような形にまとめたいと思います。
事務局	あえて県が「SHIN化」を言ってますので、それに則って修正をするという所を軸にしたいと思います。ただ配慮をする視点、家族というのが重要だという所、そこを「SHIN化」するということを伝える記載を足立先生の定義後に、米印か何かでいれるような形でバランスを取るのもよいかと思います。
会長	共食の最後の文章に、皆、引っ張られているのかもしれないです。一番大切なところは（3）や（4）が大切なことであって、最後の家族っていうのはそこが一番実践しやすいという意味。そこばかり強調されすぎたのかと反省しながら皆さんの話を聞いてました。
委員	この話は共食と「こしょく」っていうのは別のものだという考え方ですか。私の捉え方だとどちらかといえば、シンクロしているもので、共食の中でも「こしょく」というものがありますと受け取りました。例えば何人かの友達でレストランに行きました。各々がそれぞれのものを頼んだら、それは「こしょく」だという、でも皆で食べているという意味にとらえました。だから絶対共食じゃないとダメだとか、これは「こしょく」になるから共食じゃないというのではなくて、共食だけどころか「こしょく」という考え方もあるという感じでとっているの、一人は洋食、一人は和食というのは、皆やっていることです。それに偏らなければいいのかなとしか思っていませんでした。反対にそこまでこだわる必要があるのかなと思いました。
会長	私も同じように共食だと思っていますが、「こしょく」になっているということも、もちろんあると思います。
委員	新型コロナウイルス感染症対策のため、大人数での会食は控えなければいけないこの状況下で、考え方は一人一人あると思いますが、ここが引っかかるから共食ではないという考え方よりは、全部が共食なんだけど「こしょく」だけにこだわらないように食べる物・食べた状況っていうのをとらえてくださいというように私は受け取りました。
事務局	そうすると①の最初の「家族との共食を通じた楽しい食の推進」で「家族」を今回入れましたが、これは止めて、コラムの所だけだと家族と食事をするのも大切であるし、誰かと食事をするのも共食であるし、地域の人達等広い中でも家族が重要であるという話なので、頭出しでの「家族との」を削除するなど、そこは一つ検討する所であると思います。
委員	反対にこれだと「こしょく」に当てはまらない状況はほとんどないかと。自分

発言者	内容（要旨）
	<p>一人で毎日同じ食事を食べ続ける状況ではない限りは。大概色々な食材を毎日食べられていると思うので、そうすると固定されたものを食べるっていうのは難しいと思います。本当に引きこもりでカップラーメンしか食べない以外は、ほぼ入らないと思います。そうとらえられるように補足説明があれば、良いかと思います。</p>
委員	<p>私は「こしょく」と共食とは相反するものだと思っていました。一人で食べることと皆で食べることは全然相反するものだと。しかし今話をよく聞くと全部ひっくり返すという印象を受けました。多くの人は相反するものだと捉えて、だから6つの「こしょく」でこういうことだ、共食はこういうことだと説明することは大切であり、それであれば「こしょく」はすごく納得がいきます。ただ共食では家族ということが全面に出ていて、多様性を認めるという割には家族の部分が強くでているという気がします。でもやはりこの中を読み込んでいくと一緒に食べるだけでなく、会話をすることであったり、その辺りを丁寧に説明していくと共食と「こしょく」が一緒になっていく、相通じていくとわかると思うのですが、逆にその説明がないと反対のものと捉えられてしまうのかと。この説明があって、家族で食べなくても、様々な共食の仕方があるということをつけ加えるとわかりやすいのではないかと思います。</p>
会長	<p>基本方針1にわざわざ家族と入っているのは、家族が一番基本で、家族が一番実現しやすいという意味で、もちろん2番3番も共食だということを伝えたかった。だからこそ定義を入れないと、そこまで解釈できないかと思ったのですが、伝わりにくかったかなと反省しています。基本方針は食に関わる人達の食を通じた食の理解・推進が共食であるという意味で、もっともこの計画を作るときにも念頭に置いていたはずで、伝統食の食文化を知ることも共食だという気持ちもこの方針に反映されています。しかし共食が昇華されているって、あえて家族が基本で家族が実践しやすいですよという中で家族を入れることが良いかと。わかりにくければ家族を取ってもいいと思います。</p>
委員	<p>コラムにするのであれば、共食をしてる子としてない子のデータをつけると共食をすることによってどのような影響が出るとか、より説得力があると思います。</p>
会長	<p>世の中がその時、共食をどういう定義をするのかという点も重要な部分になると思います。結局そこが誰かと一緒に食べる事という事に矮小化していくのであれば意味がないかと。別の論文によると、一緒に食べる事より共食の質のほうが大切だということもみられます。子どもが自分から発信しているか、食卓のなかで家族が会話しているかという所の質が問題だという論文もあります。</p>
委員	<p>6つの「こしょく」の後に共食の定義と言われて、思い当たる家族、親もたくさんいると思います。共食ができてないとか。例えば、スマホを見ながらとかテレビを見ながら一緒に物を食べてても会話がないかもしれないですし、別々の物を食べてても会話は出来るかもしれないですし、家庭によってスタイルが全然違うと思います。これを読んだことによって思い当たる人はたくさんいるのか</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>と。しかし、そうではない人達、外出すらしないとか家族がもういないとか家族と食べるっていう時間が持てない人達からしたら、違う意味で捉えると思います。私はやはり心を育てないのかなとか、それを子どもが読んだ時にこれをしなかったから私は心が貧しいのかと伝わるといけないと思うので、共食をなさいますとか「こしょく」がいけないではなく、「こんな楽しい食べ方があるよ」や、「こんな楽しいことが食べることにあるよ」という定義。方針なので具体的な楽しさを書くわけではないと思います。</p> <p>方向性として、多様性で、どの方達にも良い意味で伝わるような内容でないといけないかと。傷をえぐるような内容ではいけないと思って。もうすこし楽しい雰囲気という言葉が並んでいると取り組みやすいし、取り組もうと思うし、それに該当しない子も「これは出来ないけど私にはこれは出来る」とか、届くような形になれば良いかと。数値を使うと「自分は除外されている」と感じたり、「これはこういうふうだよ」とかになってしまうと、親は努力する事ができるけど、子どもはそれを理由にやめてしまう可能性があると思うので。全部、食育のことを言っていると思うんですけど、共食もこれをすれば食育につながるよっていう、「こんな「こしょく」があるんだよ」とか、それがいけないじゃなくて、「こんな形もいいよ」という事だけが並んでても優しいのかなと思いますが、伝わりづらいかもしれません。危険性はあるかもしれませんが、良い意味で捉える人には良いのですが、違う意味で捉える人の事を心配されていると思うので、それを補足でなのか、そもそもの書き方を難しくとらえられないような書き方にするというのも良いのかもしれないなと思いました。</p>
会長	<p>私としては共食とか「こしょく」にこだわりはなく、楽しい食事、その人らしい食事とは何なのか、その中で子どもの時に経験した楽しい思い出をしてきたことがはたす役割について研究してきました。</p>
事務局	<p>コラムの1は家族と一緒に、2は誰かと一緒に、色々な多様なことが共食であるという事が触れられていて良いと思います。しかし、先ほどもお話した(1)の「共食を通じた楽しい食の推進」の頭に「家族との」を入れると限定的になることと、今日の提案にはありませんが、下の欄にもある「家族が共に食事をする事でコミュニケーションがはかれ」という箇所も、楽しく食べることで食育が育まれるものがあるという意味では、すごく多様性が限定されていると感じられます。ただお話しにあったように家族が逆に受け取る人もいると思うので、例えば「家族など」とかそういう言葉を入れるとちょっと優しくなるのかなと思いますが、いかがですか。</p> <p>「家族」も残しながらも色々な人にも配慮しながら、最終的にはコラムでは色々な形の共食があるということを伝えるということで。文章の中の表現も「家族などで食事をする事でコミュニケーションがはかれ」や「家族などで食卓を囲む機会を増やしていく必要がある」などにすると良いかと思います。</p>
委員	<p>「共食を通じた楽しい食の推進」だけならわかりやすいと思います。「こしょく」に関してタイトルにはなく、共食だけタイトルに書いてあります。しかし「こ</p>

発言者	内容（要旨）
	<p>「しょく」はコラムで取り上げている。そのため「楽しい食の推進」だけわかりやすく出しておいて、「こしょく」と共食はコラムで同じ立場で捉えて記載するのであれば、どちらも同じだという感じで伝わるかなと思います。ここで共食だけ出てきて、さらに家族まで出てくるので、家族で食べないといけないのかなとか、やらないのはダメなのかなと捉えられることがある。「楽しい」だったら一人でも楽しく食べられると思いますが、さっきのYouTuber じゃないですけど、今日は何にしようかなとか考えたりして楽しく食べられる人もいます。一人で食べることが悪いことではなく、「こしょく」であろうと楽しくは食べられると思うので、楽しく食べる推進をうたっていったらたくさんの市民に届くのではないかなと思います。</p>
委員	<p>この基本目標2の(1)(2)(3)は全部共食ですか。(1)にだけ共食が出てくるので(2)(3)は別物なのかなと。そのため(1)(2)(3)も共食には色々な意味がありますと教えてもらおうと、全部まとまって大きな意味合いで共食なんだと、共食を通じて豊かな「心」を育む中に(1)も(2)も(3)もあるよと教えてもらえると、(1)だけが共食だととらえると、家族で食べることだけが共食なんだと思ってしまう。(2)(3)も共食なんだという、全部が共食なんだということが載っているとわかりやすいかと思います。</p>
委員	<p>今おっしゃってたことで、6つの「こしょく」ってあるんですけど、例えばその対比として、4つの共食っていうものにして、4つの共食の中の1つのカテゴリとする感じはどうですか。6つの「こしょく」であればすごくわかりやすい。それと同じで共食も4つとか5つとか対比して載せるとわかりやすいと思います。</p>
事務局	<p>そういう書き方も足立先生にお伺いしてみると良いかと思います。日進市のオリジナルバージョンになります。</p>
会長	<p>こういうディスカッションが大切かと思います。皆さんがどう思って、それをどう計画に載せるかが大切だと思います。</p> <p>啓発品に関して他にご意見やご質問などはありますか。</p>
全委員	<p>・特に質問なし。</p>
会長	<p>啓発品については良いものができるといいなと思います。</p>
事務局	<p>計画の素案を作り直し、皆さんにお送りしようと思います。今回の意見を受けて修正する箇所が、当初の「家族との」は入れない形にしようと思うのと、最後の五行のところ「家族」と出てくる箇所を「家族など」というような記載に変えることと、あとコラムは6つの「こしょく」に対して4つ共食というタイトルにし、以下は足立先生の内容で説明させていただく形で修正をしようと思います。そのような形よろしいですか。</p>
会長	<p>ここの(1)は家族だけでいいのか、共食の部分も取ってしまうのも良いかと。共食を拡大解釈していくうえで、あえて(1)の共食を取るのも良いかと。</p>
事務局	<p>「楽しい食の推進」というタイトルにしてということですね。その中で共食というのが1つのテーマですと。それについて皆さんどうでしょうか。「共食を</p>

発言者	内容（要旨）
	通じた楽しい食の推進」にするのか、シンプルに「楽しい食の推進」にするのか。
委員	共食を取ることに賛成です。コラムで「こしょく」に対比して色々な共食があるという感じだと良いと思います。
委員	ぜひ足立先生にも考えていただいて日進市バージョンの共食を、どこにも見たことのない共食のこういうのが出てくると面白いと思います。
事務局	(1)の冒頭の「共食を通じて」を取り扱いについては、安達先生と事務局で検討したうえで、皆さんにお送りしてご意見をお聞きするような形にしたいと思います。
会長	ありがとうございました。それでは6番の意見交換に進みます。
委員	一点良いですか。安達先生のお力を借りたいのですが、食品成分表がありまして、日進市食生活改善推進委員会では栄養計算をする機会がありまして、調味料の重量に関して、基準が複数あります。確かに見てみると今までのものとは違うものが食品成分表にあるんですけど、大学の生徒さんたちはどのように。新しいもので教えてるんですか。
会長	基本的には新しいものを使うように指導しています。
委員	そうすると私たちも新しいものを取り入れて栄養計算をしていったほうが良いですかね。レシピに必ず栄養計算を付けるものですから。今すごく迷っています。
会長	私も迷っているところではあります。しかし最新の方がより精度が上がってきてより正確になっているので。
委員	ありがとうございました。
会長	ご苦労されていると思います。
委員	家推の活動報告としまして、相野山学区なんですけど、日進市のもち米の品種で「こはるもち」があるのですが、5月に田植えをさせていただきました。地元の惣助ファームさんにご協力をいただいて毎年行っているのですが、去年は学校のスタートの関係、新型コロナウイルス感染症対策により中止になりました。今年は分散開催という形で少し時間をずらしながら開催しました。秋に稲刈りと脱穀を予定しております。今日いただいた資料も役員の皆さんと委員に配らせてもらいたいと思います。31日の土曜日に役員会がありますので、配らせていただきます。 あとですね、個人的な意見として、全国各地で野菜の定期便をやっていますよね。その日進市版があつたらいいなと思います。
事務局	農家さんから旬野菜セットが配達してくれるような制度ですか。
委員	そうです。予算とかいろいろな問題があると思うんですが、たとえばお値段でいうと三千円の定期BOXだとすると千円を農家さん応援に寄付して二千円分の旬の野菜を地産地消でお送りするとか。大家族だとマル得定期便で、例えば傷があって市場に出回りにくいようなものももったいないと思うので、そういった野菜がたくさん入っているものとか。地産地消を意識して、広い世帯や高齢者等に配達してもらえるといいのかなと思いました。

発言者	内容（要旨）
事務局	生産者が、直接、お客さんの所に運んでもらって、生産者の喜びとなるようなことができると思います。
委員	そうですね。セブンイレブンさんの朝採りとうもろこしがとても美味しくって、そういったものが手元に高齢者にも届くと喜ばれるのかなと思いますし、交流ができるのも地産地消の観点から大切かなと思います。
事務局	配送がネックになるところではありますので、例えばセブンイレブンさん等に協力してもらって、地元の旬野菜セットなどを販売していただくようにすることは、相談ができます。ところで、農家さんは曲がったきゅうりとかは出荷前に捨ててしまうとのことなので、売るのであれば大量に曲がったきゅうりを集めて格安で売るとか。ただ、生産者の方も手間がかかるため捨てている現状もあるようです。
委員	そういうのを含めて感謝の気持ちを込めて寄付しますというBOXがあるのかなと思います。
委員	先ほどの話について、農家として実際に出回らない野菜を捨てているのではなく、土に還すという意味です。イメージ的に捨てる、もったいないってなるんですけど、土に還していくので、単純にゴミにしている訳ではないです。
委員	土に循環していくという意味ですか。
委員	そうです。よくテレビなどでキャベツを売れないから土にすき込んでももったいないってなるんですけど、あれは肥料になるので、ゴミではないと知っていただければありがたいと思います。
会長	ありがとうございました。 それでは最後になりますが、7その他について何かありますか。
事務局	ホチキス止めの「市HP：日進市食育推進計画策定案内」について、農政課で把握しているもの等を抜粋しておりますので、参考にさせていただいたり、広くお伝えしていただければと思います。ヘルピー健康だよりは毎年作成していますし、安達先生やメディア造形学部の皆さんにもご協力いただいて作成しています。以上です。
会長	あとはよろしいですか。
委員	毎年、食育推進委員会はこの時期に開催されるのでしょうか。夏休み中で子ども達を預けたりすることが大変なので。もしも今後委員になられる人が小学生以下の子どもがいる人だった場合に、来たくても来れないとか逆にそれを理由に欠席することもあるのかと思って。夏休み等の長期休暇中の開催だと都合の悪い場合もあるかと思っています。
事務局	子どもの長期休暇以外の平日の方が出やすいという意見ですね。
委員	仕事の都合で欠席する人もいると思いますが、開催日を検討していただけると参加しやすいのかと思いました。
事務局	わかりました。ありがとうございました。今の話で子どもの長期休暇を外したり、皆さんお仕事もされていると思いますので、できるだけ早めに連絡させていただきますよう事務局も努力させていただきます。よろしくお願ひします。

発言者	内容（要旨）
会長	では全ての議題が終わりましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。
事務局	<p>安達会長、ありがとうございました。</p> <p>今後の日程ですけれども、計画の修正素案をメールで送らせていただきます。内容をご確認いただき、その回答をよろしくお願いたします。その状況を踏まえて、来年1月頃に第2回食育推進委員会を開かせていただき素案を確定させていただいて、パブリックコメントにかけるという流れにしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>以上で令和3年度第1回日進市食育推進委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
	閉会（午前11時40分）